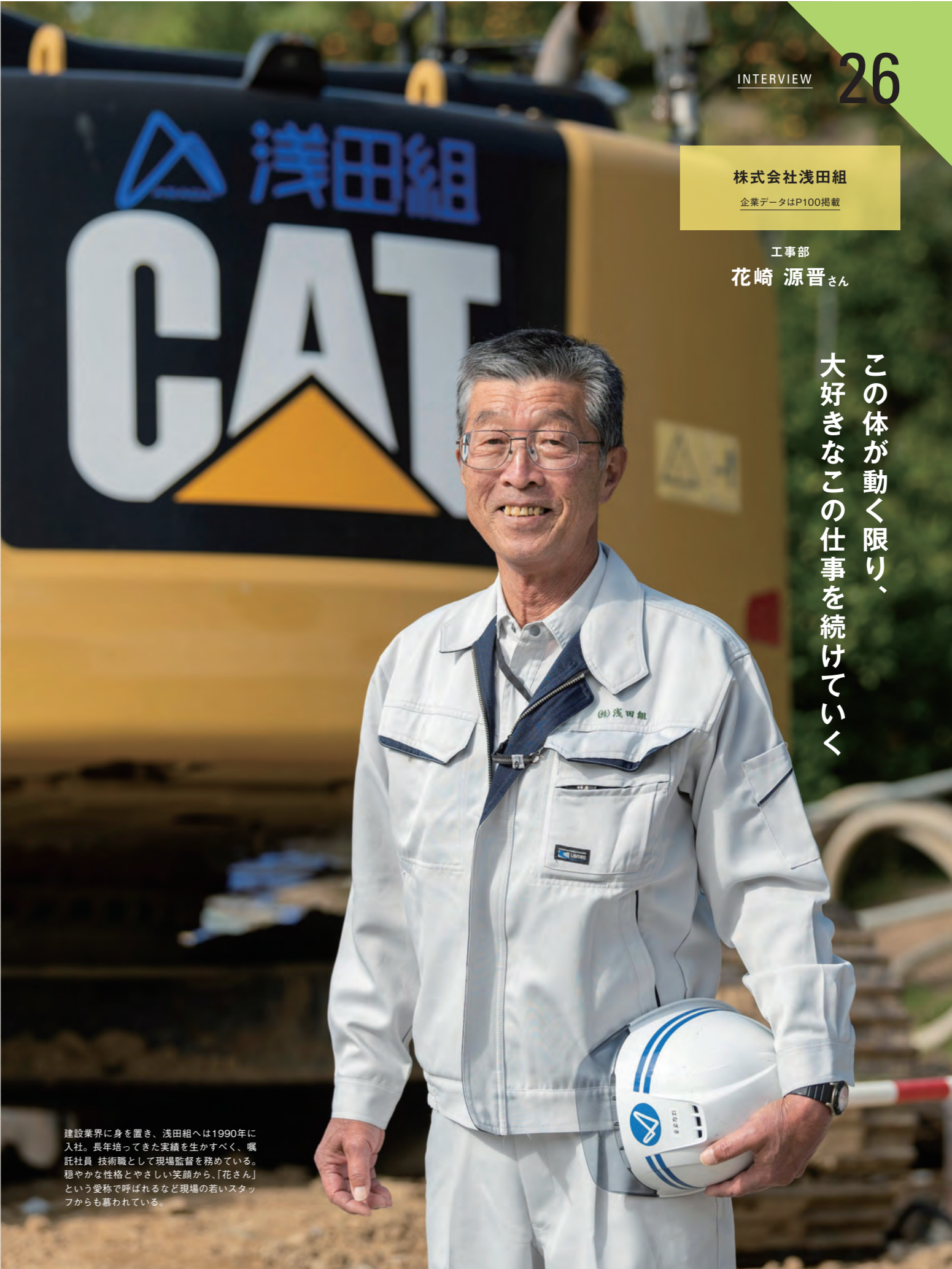


株式会社浅田組
企業データはP100掲載

工事部
花崎 源晋さん

この体が動く限り、
大好きなこの仕事を続けていく



建設業界に身を置き、浅田組へは1990年に入社。長年培ってきた実績を生かすべく、嘱託社員 技術職として現場監督を務めている。穏やかな性格とやさしい笑顔から、「花さん」という愛称で呼ばれるなど現場の若いスタッフからも慕われている。

「定年後も働きたい」
そう思える環境がある

定年を迎えて、再雇用の嘱託社員という形で主に現場監督として従事しています。この仕事は国家資格を必要とするので、今すぐ誰かができるものではないんです。長年この業界でしか働いていない自分にとって、技術や仲間などこれまで創り上げたものを生かして収入も得られる嘱託社員という道を選択するのは必然でした。体力的にも衰えが隠せない年齢ですが、それでも働けます。そして、定年後も働こうと思えるくらいのやりがいがある浅田組にはあります。

若手と働くなかで得た
たくさんの気付き

仕事のモットーは、地域の方々、働く仲間たち、そしてその家族などを、常に人を想つこと。現場仕事は危険がつき



Q&A

宇和島の魅力はどんなところ？

ありきたりですけど、食べ物がおいしい！もう鯛めしなんて毎日どころか1日5食は食べられます。そして三間米もうまい。ごはんがおいしいければおかずは100倍おいしくなります。漁業が盛んな街なので魚介類が多めですが、都会では味わえない新鮮さがありますね。

学生時代にしておいたほうが良いことは？

あえて言うなら、卒業しても連絡の取れる友人を大切に、ということでしょうか。建設業は異業種との接点が多いと思います。いろんな業界で活躍する友人と接点を持つことで、多様な情報を得ることができ、それにより多様な発想ができるようになると思います。

建設業の魅力ってどんなところ？

地域の方々の生活に役立つモノづくりができること。そして、それが形として永年残ることではないでしょうか。大切にに使われている姿を見たり、便利になったと言っていたりすると嬉しいです。

うちの会社のココがスゴイ



業務に必要な資格や特別教育の受講にかかる費用は、交通費も含めて全額支給されます。金銭面の不安を取り除くことで勉強に集中できるので、より建設業で働きやすい環境といえます。

地域に貢献するモノづくりが
自信につながっていく

私くらの歳になると、ドライブ中に見かけるあらゆるものが「あれ、ワシが創ったんや」と言えるようになります。どの仕事も思い出があります。手掛けたもので最も印象に残っているのは九島大橋。他社と連携して建設した、ベルトタイプ式橋脚基礎の設置水深として日本最大規模の橋です。九島在住の方の移動手段が船から車に変わり、生活がより便利に。私自身が九島出身ということもあり、でき上がったときの感動はひとしおでした。

現場の若い技能者と働いていると、たくさんの気付きを得られます。古き良き、は大切にしつつも、時代に合わせ自分も変わらなければ若手はついてきません。「考えが甘い」なんて思ってしまうこともあります。わざわざ難しく考えることが最善とも限りません。そういうことに気付きました。

仕事内容

現場監督として
現場全体の指揮をとる



現場監督として工事現場のマネジメントを担う。工程管理から材料の仕入れ、人の手配から工事の財務状況まで、その現場をひとつの会社とするならば社長のような仕事。とくに安全面には細心の注意をはらって、KY活動(危険予知活動)や、午前・午後に行う現場の見回りなどは欠かさない。

円滑な仕事をするため
事前準備も大切に



現場とデスクワークの割合は5:5。安全管理の一環として撮影した現場写真の整理をしたり、進捗状況を確認したり、計画を見直ししたりという作業を行っている。業務を円滑に進めるためには事前準備と段取りが物を言う。イレギュラー時にもすぐ対応できるように日々の進捗把握も大切だ。



奨学金返済支援

働く若手社員を応援

「金銭面で不安を払拭することで、業務はもちろん、ライフスタイルもよりよいものにしてほしい」という想いからスタートした制度。在職期間中は奨学金の返済を会社が支援してくれる(支援条件あり)。金銭面で不安がなくなった分、資格取得に励むなどプラスの影響を生み出すことができるという。

「資格取得支援制度と合わせて、普段の業務にその能力を発揮することに注力して仕事を楽しんでほしい」「プライベートに関しても、友人との時間や生活そのものを少しでも楽しくアップデートしてほしい」。そんな「毎日楽しいほうがいい」という当たり前を実現するために、働く若手社員を応援している。



車で遠出をしたり、海釣りをしたりと、プライベートの楽しみ方はさまざま。社員同士の交流も多く、働く環境の良さがうかがえる。



従業員の約30%が20~30代の若手。現場監督である技術者や現場で仕事をする技能者、営業・総務・経理事務を行う総合職社員が在籍。本人の希望を考慮し配属を決定する。

成長支援

資格取得支援

技術者の国家資格はもちろん、機械の操縦ひとつにしても免許や受講が必要となる。業務に必要、または役立つ資格であれば、旅費交通費も含めた取得費用を全額会社が支援してくれる。

メンター制度

新入社員1人につき、ベテラン社員を1人設定。OJTとして業務のレクチャーを行いながら、メンターとしても寄り添い、不安を抑えられるよう取り組んでいる。

事業紹介

3

緑の下の力持ち
総務企画課



2022年度に新設。DXをはじめ、業務改善や企業イメージアップのための企画・立案・実行が主な業務。各種システムの導入検討、業務改善の提案、CSR活動の積極的な推進を行っている。2023年にはeスポーツ団体と連携した、eスポーツイベントを開催予定。

2

合理化・安全性向上を
目指すICT促進室



県内でもいち早くICT建設機械を導入。2020年には、施工の合理化と現場の安全性向上を目的とした「ICT促進室」を設立。現在では、ドローンを使った空中写真測量や複合現実(MR)も行えるようになり、より具体的でわかりやすい施工提案が可能となった。

1

浅田組の中核を担う
建設事業



トンネル建設工事、道路建設・改築工事、風力発電所建設工事など、地域の生活インフラを支えている。安全を第一に考えていて、毎月の安全パトロールの実施や「浅田組グループ安全大会」の開催など、危険予知活動にも力を入れている。

総合建設業 | 株式会社浅田組

地域と心に残るモノづくり



100年先の未来へつなぐ仕事

大正3年創業、南予地域を代表する総合建設会社である浅田組。高度な建築・土木技術によって愛媛県内各地の幅広い多様な施工を行っている。理念として「地域と心に残るモノづくり」を掲げ、主に道路やトンネルのようなインフラ整備、斜面(法面)の修復や砂防ダムなどの災害復旧・対策工事などを担う。平成30年の豪雨災害では、保有する多種に渡る建設機械を稼働させ、復旧復興に尽力。そのほか建設工事以外でも、災害廃棄物の集積施設を運営するなど、同社のポテンシャルを十分に生かした業務で地域に貢献し続けている。

同社の特長はそれだけではない。ベテラン・新人の垣根なく意見を伝えやすく、良い意見はしっかりと反映してくれるという良好な職場環境が整っている。そのため、指示されたことだけをやる受け身な仕事ではなく、一人ひとりが自分で考え改善をしながら能動的な仕事を行えるように。これが社員の成長にもつながっている。また、浅田代表が大の動物好きという点もあり、事務所に熱帯魚や猫が勤務しているのも同社ならではの社員全員の癒やしとなっている。



1. 南予に住む学生に、建設業の楽しさやすごさを知ってもらいたいという想いから、工事現場体験会を実施。社会に出るにあたって、「建設業で働く」という選択肢を提供している。2. 社員の一員である猫のジジくん。浅田組の癒やし担当として大活躍。

株式会社浅田組



〒790-0154 宇和島市寄松甲154
☎0895-22-0057
営業時間: 8時~17時

【拠点】伊方支店 / 松山支店

採用データ

募集概要

- 職種: 土木工事・公共工事の現場監督候補(見習い) ●募集形態: 正社員
- 仕事内容: 工事の施工管理(品質・工程・安全・環境・原価)
- 勤務地: 宇和島市 ●勤務時間: 8時~17時 ●必要資格: なし

給与・福利厚生

- 月給: 185,000円~320,000円 ●諸手当: 職務手当、役付手当、遠隔地手当、資格手当、宿直手当など
- 昇給: 年1回(5月) ●賞与: 年2回(8月・12月) ●休日休暇: 週休二日(土・日曜)、夏季休暇、年末年始、GW休暇、慶弔休暇 ※年間休日115日 ●保険: 雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金、財形